

1) 住まいの提案力UP講座とは

国土交通省は、平成31(2019)年3月28日に、高齢期を健康で快適に過ごすために、早めに住まいを改修することのメリットや、改修の際に配慮すべきポイントをまとめた「**高齢期の健康で快適な暮らしのための住まいの改修ガイドライン**」(以下、「ガイドライン」という。)を公表しました。

(報道発表資料：
http://www.mlit.go.jp/report/press/house07_hh_000202.html)

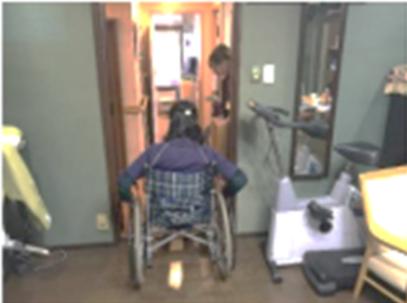
一般社団法人 高齢者住宅協会では、「ガイドライン」を広く周知し、高齢期の住まいについて考える契機とする取組を行っております。



<「ガイドライン」を解説したリーフレットと冊子>

「ガイドライン」に沿って高齢期の居住の場の選択を支援するためには、**高齢期の状態変化を踏まえ、高齢期に適切な住まい・住まい方を提案できる人材**が必要です。

当協会では、高齢期の居住の場の選択の支援に資する人材を育成するための研修について検討してきており、感染症対策を鑑み、「**住まいの提案力UP講座・入門編**」「**同応用編**」としてオンラインでの研修(eラーニング)を開始しました。



< 2019年度 住まいの提案力UP講座 >

2) 住まいの提案力UP講座の目的

本講座は、高齢期の豊かな暮らしの実現に向けて、「ガイドライン」を活用した高齢期に適切な住まい・住まい方を提案できる人材を育成することを目的とします。

具体的には、高齢期の住まいや住まい方について相談を受ける場合に、**高齢期の居住の実態や介護の実態を知り、高齢者の視点に立った提案**ができる人材の育成を目標とします。

高齢期のライフステージと心身変化を体得し、早めの意思決定を促せる。

健康寿命を伸ばすために住まいと暮らしに必要なポイントを知り、提案できる。

介護が必要になっても自宅に引き続きられる住まいと暮らし方を知り、提案できる。



3) 想定する受講対象者

高齢期の居住の場の選択を支援するために、ガイドラインでは、建築、資産活用、法律等の専門家、必要に応じ、医療・介護等の専門家による支援が必要とされており、当講座はこれらの事業者等を対象とします。

具体的には、右のような対象者を想定しています。



高齢期の住まいの相談窓口
機能団体

工務店、住宅供給事業者、
住宅の設備、機器、建材を供給
する事業者、エネルギー供給事
業者等の住まいの改修に関する
事業者

その他(地方公共団体職員、
高齢者、今後高齢期を迎える者
等)

4) 住まいの提案力UP講座の構成

住まいの提案力UP講座は、今回ご案内する「**入門編**」に続いて、「**応用編**」「**実技・体験編**」の3ステップから構成されます。

入門編

令和2年度開始

動画視聴 + Webテスト

修了テスト

<ポイント>

高齢者の視点から適切な住まいの提案をするための知識を習得する。

高齢者を理解する
住環境の重要性を知る
改修の手法を知る

応用編

令和3年度開始

講義・課題 + 個人演習

ロールプレイング

<ポイント>

高齢者の状況や場面を設定し、ヒアリングから提案までの活動をシミュレーションすることで、知識を実践で活用できる。

実技・体験編

未定

体験学習

<ポイント>

介護現場等において、対象者を目の前にして体験することで、現在とこれからを見通した住まいと住まい方の提案ができる。

入門編、応用編、実技・体験編の全コースを修了すると、「介護と住まいの相談員」資格証の交付を受けることができます。希望により、高齢者住宅協会が運営する[オンライン総合相談窓口](#)にて「プロの相談員」として活動できます。

令和4年度は受講無料
(2023年3月末まで)

将来計画ver.受講料 19,800円(税別)/人
リフォーム提案ver.
受講料 39,800円(税別)/人
(2023年3月末まで)

4) 「入門編」カリキュラム

INDEX

高齢期を理解する

高齢期と住まいの
関係を知る

高齢期の住まいの
配慮点を知る

- 第1章 日本の超高齢社会の現状と今後
- 第2章 高齢期の3つのライフステージ
- 第3章 要介護となる主なきっかけとその予防策
- 第4章 介護予防期の特徴と見分け方
- 第5章 健康寿命を延ばすことのできる住環境
- 第6章 高齢期に早めに住環境を整えるメリット
- 第7章 高齢期の住まいの選択肢
- 第8章 介護対応期に必要な住まいとは
- 第9章 介護保険制度の在宅介護サービス
- 第10章 自宅でよく利用される福祉用具
- 第11章 ADLと住環境整備のポイント

修了テスト

修了テストで所定の基準をクリアすると修了となります。
オンライン講座なので、**全国どこからでも、職場や自宅で、**
自分のペースで**わからないところは繰り返し**学習することが可能です

5) 入門編 受講の申し込み方法

受講期間：受付中～令和5年3月31日の申し込みまで

受講に要する時間：6～8時間程度

受講費用：無料（令和5年3月31日までの受付は無料で受講いただけます）

修了テストにおいて所定の基準をクリアした場合、希望者には、有料で「入門編修了証」を発行します。（1500円税込+送料）

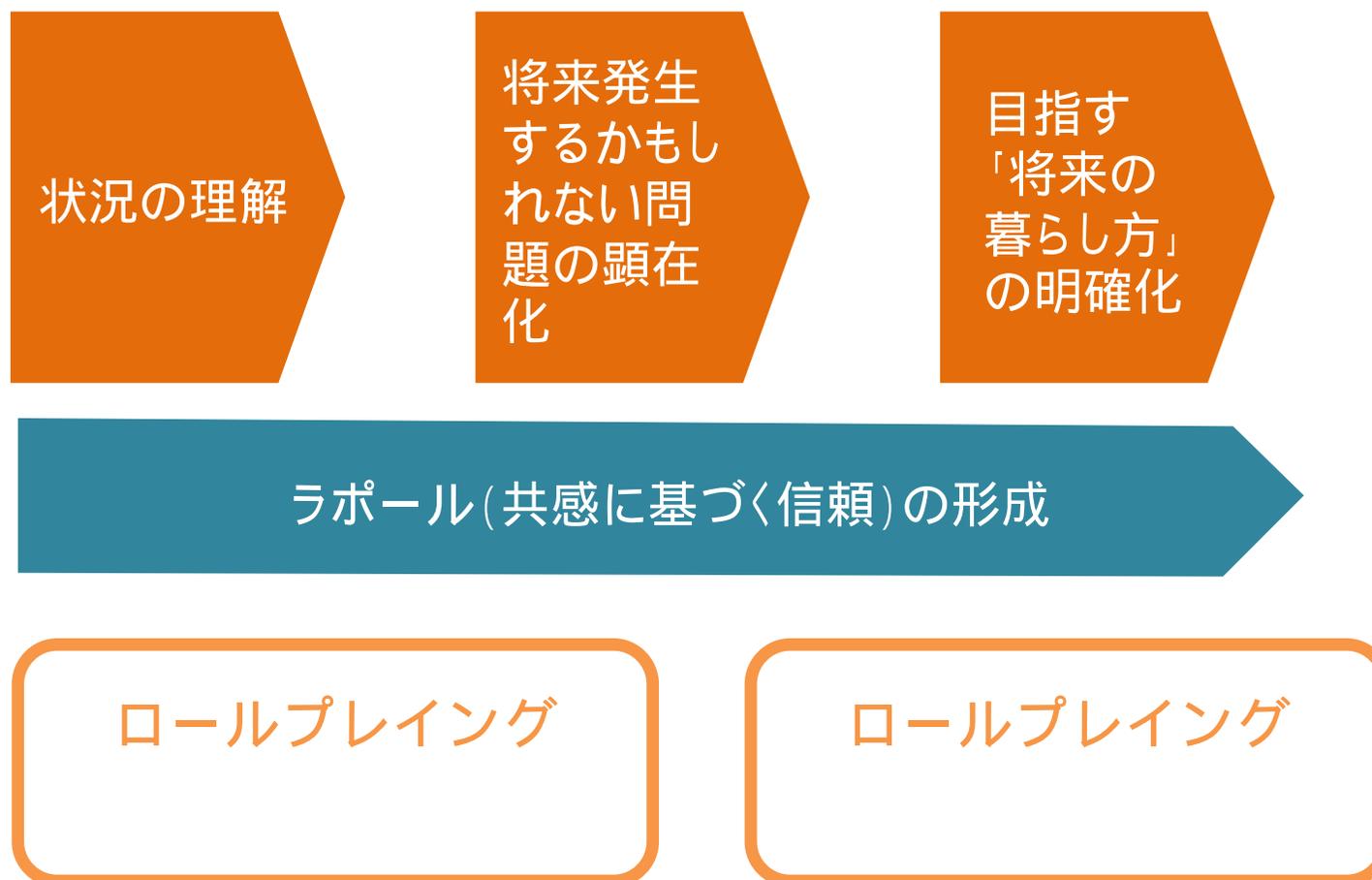
< 講座受講の方法 >

受講希望者のお名前、ご所属、メールアドレスを記載の上、を、高齢者住宅協会研修担当（kenshu@shpo.or.jp）宛にEmailにて送付ください。

当方より、各受講者のメールアドレス宛に、受講に必要な情報を送付した後に、受講開始となります。

6) 「応用編」将来計画ver.の概要

加齢に伴う状態変化により発生するリスクを理解してもらい、将来計画を立てる際に必要な目標像：相談者が本来ありたいと願う暮らし方を引き出すスキルを獲得することを目指します。



6) 「応用編」リフォーム提案ver.の概要

元気なうちの早めのリフォームの必要性を説け、今の生活を豊かにし万が一の際の対応も可能なプランを提案できるスキル獲得を目指します。



リフォームプラン作成とプレゼンテーション

得られること

- ・ お客様の大切な価値観を把握し、起こりうる将来のリスクを想定できる
- ・ 健康で豊かな暮らしを実現しつつ、万が一の時は「終のすみ家」となりえる提案ができる
- ・ 健康な今こそ早めにリフォームを行う必要性を伝えることができる。

7) 応用編 受講の申し込み方法

受講時間：13:30～17:00

費用：将来計画ver.お一人19,800円税抜、リフォーム提案ver.お一人39,800円税抜
8人以上の申し込みで20%off

開講日：高齢者住宅協会HPへ掲載

(http://www.shpo.or.jp/news/topic/753/?page_category=news)

申込は開催1週間前まで。締切日以降はキャンセル料が発生します

< 講座受講の方法 >

1) 以下の項目を高齢者住宅協会研修担当 (kenshu@shpo.or.jp) へご連絡ください

○送信先 kenshu@shpo.or.jp

○記載項目 記載内容について

1. **受講希望日** 受講希望日を記入

2. **会社名** 会社名または団体名を記入

3. **申込人数** 受講希望人数を記入

4. **受講者名** 氏名・メールアドレス・当日連絡がとれる電話番号か携帯番号を記入

複数申込の場合は全員分

2) ご入金

・メールにて受講料と振込先口座をお知らせしますので、お振込みお願いします。

請求書を発行することも可能です。

3) 研修資料、ZOOM案内等

・内容確認後、前日までにメールでご連絡致します。